

ぼくの家のモチャ

御油小・3 小野田 航燿

ぼくがまだ、モチャをかっていない時は、どのペットにしようかなど、なやんでいました。

犬やハムスター、カメレオン、イグアナなどがいいと思っていました。ぼくのいもうとは、

「うさぎがいい。」
と言いました。

そのタイミングで学校でかわれているうさぎのチャチャが赤ちゃんを生みました。チャチャが生んだ数は、五ひきでした。そして赤ちゃんうさぎをかってくれる人をさがしていました。ぼくは、赤ちゃんうさぎを毎日見ている、とてもかわいかったので、かいたいなと思いはじめました。いもうととぼくで、ママに、

「うさぎがほしい。」

とおねがいしました。パパにもおねがいをし、

「しつかりそだてられるならいいよ。」

と言われたので、五ひきのうさぎの赤ちゃんの一ぴきを引き取ることにしました。

ママとぼくといもうとと。パパが、赤ちゃんうさぎをそだてるために、たくさんグッズを買いました。カーマに行つて、ぼくそうとペレットも買いました。

じゅんぴをして、何日かたつて、やっと赤ちゃんうさぎを引き取

る日になりました。ぼくとママといもうととおとうといっしょに車で学校へ行きました。学校について、うさぎ小屋へ行き、チャチャがけいかいしてしまうので、チャチャを一度外に出してから中に入りました。

赤ちゃんうさぎをえらぶタイミングで友だちのなおくんが来ました。いっしょに赤ちゃんうさぎをえらびました。ぼくは、ちゃ色の子にしました。なおくんは、もう一ぴきのちゃ色の子にして引き取つていきました。ぼくは、赤ちゃんうさぎをダンボールに入れて、つれて帰りました。

車で帰っている時、赤ちゃんうさぎは耳を立てて、けいかいしていました。ぼくは、安心するようになでてあげましたが、ずっとふるえていました。

赤ちゃんうさぎが家に来ました。さいしょは、すぐだれだと思つているようでしたが、だんだん安ぜんだと思つてペレットを食べはじめました。

そのあと、時間がたつてやつとうんちをしてくれました。さわつてあげたら、目をつぶりすぐかわいかったです。

モチャという名前は、たくさんやみました。ぼくは、

「チャオがいい。」

と言いましたが、ママは、

「モチャがいい。」

と言いました。まだ、オスカメスカわからなかったのですが、オスならチャオでメスならモチャにすることにしました。パパは、

「チャチャ丸がいい。」

と言っていました。ママに、

「ダメ。」

と言われている、ぼくもチャチャ丸は、へんじやないかなと思いましたが。

へやおさんぽさせたり、コードをかんだり、ジャンプをしたりして、いろいろなことができるようになりました。

これからも、だいにそだてていきたいと思えます。そして、モチャとたくさんの思い出を作っていきたいです。